

株主通信

第68期 第2四半期

2018年3月1日～2018年8月31日



石造りの波止場に舫う白いメガボート (マルタ共和国)

TOPICS | ギリシャのヨットレース 「ポシドニアカップ2018」で優勝

2018年6月にギリシャで開催されたヨットレース「ポシドニアカップ2018」にフルノグループの従業員が出場し、優勝しました。「ポシドニアカップ」は2年に1度、ギリシャで開催される大規模なイベントで、今年は約60隻、600人以上のクルーが参加しました。ギリシャの現地子会社フルノ・ヘラスでは、「FURUNO ONDECK」というチームを過去5年間、応援しています。そのスポンサーシップを考慮して、このたび当社グループの従業員にもレースへの参加を提案していただき、このような機会に恵まれました。参加したメンバーはチームの力になれるよう、ベストを尽くし、約28kmのコースを2時間51分17秒というタイムでゴールしました。



FURUNO

創立70周年の節目の年に、
次の成長に向けた基盤づくりを進めます。



代表取締役社長
古野 幸男

景気回復に伴い、商船市場および、
プレジャーボート市場で需要が回復しました。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に底堅く推移しました。米国、欧州では企業業績が堅調で個人消費が増加し、総じて景気の拡大傾向が続きました。一方、アジア経済はインドで成長率が加速した反面、中国、韓国、シンガポールなどで成長率が減速する傾向がみられました。わが国経済は、企業収益が回復したことから雇用環境や個人消費が堅調で、景気回復が進みました。

このような経済環境の中、当社グループの関連市場では、商船市場で新船建造の需要が低水準ながら回復基調で推移しました。また、プレジャーボート市場では小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。

当該期間に適用した米ドルおよびユーロの平均為替レートは109円、131円で、前年同期に比べ米ドルは約3%の円高水準、ユーロは約7%の円安水準で推移しました。

成長市場の開拓や販売拡大に取り組み、
予想を上回る業績をあげました。

このような状況のもと、当社グループは前期に引き続き生産性の改善を図るとともに、成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組みました。その結果、主力の船用事業では、欧州市場や北米市場で売上が増加したことに加え、産業用事業でも売上が増加しました。これにより、売上高は411億5千2百万円、営業利益は36億6千3百万円、経常利益は38億5千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億8千3百万円と当初予想を上回る結果となりました。この業績を踏まえ、通期の業績予想を上方修正しております。

当社グループは事業ビジョンである「安全安心、環境に優しい社会・航海の実現」を目指し、会社創立70周年の節目の年に、次の成長に向けた取り組みを進めていきます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

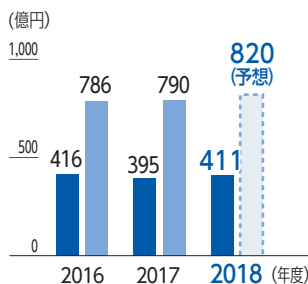
2018年11月

連結業績ハイライト (第68期 第2四半期)

■ 第2四半期累計 ■ 通期

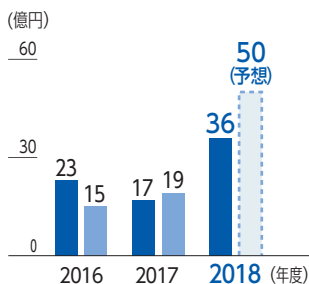
売上高

411 億円
前年同期比 4.1%増 ▲



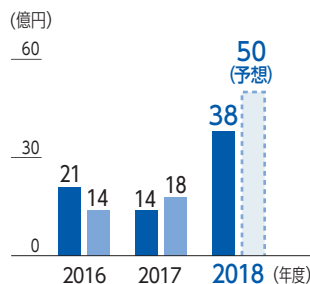
営業利益

36 億円
前年同期比 115.4%増 ▲



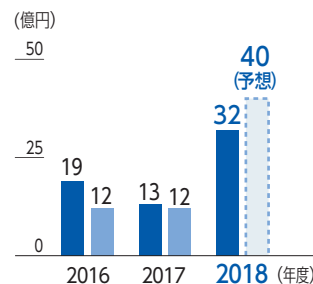
経常利益

38 億円
前年同期比 157.2%増 ▲



親会社株主に帰属する
四半期 (当期) 純利益

32 億円
前年同期比 141.3%増 ▲



配当について

当期の中間配当金につきましては、創立70周年記念配当5円を含め、1株当たり10円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり7円(年間配当金は1株当たり17円)を予定しております。

船用事業

売上高
331億円
セグメント利益
28億円

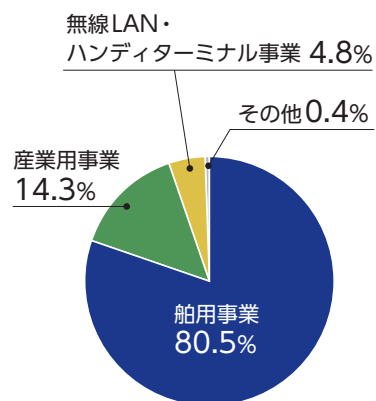
- 主な製品
- 航海機器
 - 無線通信装置
 - 漁労機器



自動操舵装置
[NAVipilot-300]

- 商船市場向けの売上が、欧州やアジアを中心に増加しました。
- 漁業市場向けの売上は国内で減少したものの、欧州や北米が好調で、漁業市場向け全体でも売上が増加しました。

事業別売上高構成比



産業用事業

売上高
58億円
セグメント利益
4億円

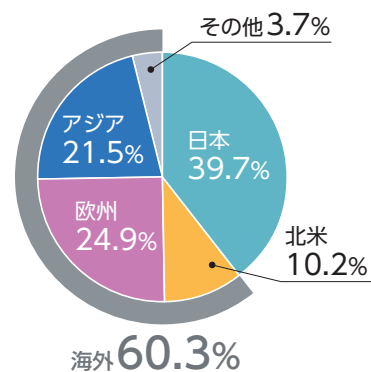
- 主な製品
- 医療機器
 - GPS 機器
 - ETC 車載器



生化学自動分析装置
[CA-800]

- 生化学自動分析装置は大型の売上が大幅に減少し、中小型も売上が伸び悩みました。
- ETC 車載器、骨密度測定装置も売上が減少しました。
- カーナビゲーションシステム搭載用GPSモジュールや周波数発生装置の販売が好調で、売上が増加しました。

地域別売上高構成比



無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高
19億円
セグメント利益
3億円

- 主な製品
- 無線LAN 機器
 - 無線ハンディターミナル



無線ハンディターミナル
[finpad 903f]

- 文教市場向けを中心とする無線LANアクセスポイントの販売は、前年度の水準を維持しました。
- ハンディターミナルは開発投資を増加させましたが、売上は減少しました。

詳細な財務情報はフルノ企業情報サイトをご覧ください。

<https://www.furuno.co.jp/>
>IR・投資家情報

NEWS —新製品紹介—

2018年 12月発売予定

業界初、4ヵ国語切替機能付きETC車載器 [FNK-M11TR]

外国人旅行客の増加に伴い、レンタカーなどを利用する外国人数も急増しています。そうした方々の安全・安心な交通をサポートするのが、業界で初めて日本語、英語、中国語、韓国語に対応したETC車載器 [FNK-M11TR] です。簡単なボタン操作だけで4ヵ国語のいずれかに切り替え、ETCカードの認証やETCレーンの通行可否を音声案内で聞くことができます。



4ヵ国語切替ボタン：日本語、英語、中国語、韓国語

◀ 特徴

利用者が挿入方向を一目で理解できるようにETC車載器本体にイラストを記載するなど誰もが使いやすいデザインを実現しています。

創造への挑戦 創立から70年間の歩み

世界初の「魚群探知機」の実用化にはじまり、海から陸へ、国内から海外へと事業フィールドを拡大してきたフルノグループ。70年間にわたり、新しい技術・新しい市場の創造に挑み続けてきた歩みについて、ご紹介します。

[2018年度]

売上高(予想) **820億円**
経常利益(予想) **50億円**



2018

2014

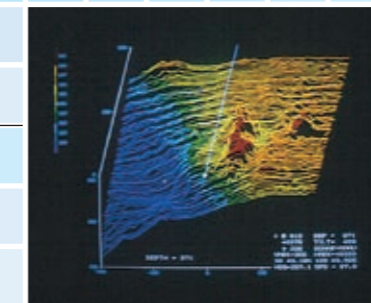
●公益社団法人発明協会の「戦後日本のイノベーション100選」に魚群探知機が選定

2011



●ラボテックEMCセンターを設立
西日本最大級の10m法電波暗室

2005



●戦艦大和の探索に貢献
当社従業員も探索船に乗船し、
三次元ソナーで沈座状況などを捉える

1985

●中国に東莞工場を設立

1982

●大阪証券取引所に
株式上場

1979



●三木工場を設立
船用機器生産工場として世界最大規模

1974

●ノルウェーに
初の海外子会社を設立

1972



●全米船舶用電子機器協会の
最優秀メーカー賞を初受賞

1956

●輸出開始

1955

●古野電気株式会社を
設立

1948

1938

●古野電気商会を創業
ラジオ修理業や船舶の
電気艦装工事を請け負う

[1955年度]

売上高 **1.5億円**
経常利益 **800万円**

●「世界のフルノ」宣言
グローバル展開を目指す

見えないものを見るために、
フルノはこれからも新しい価値を
創り続けます。

1948~ 世界で初めて 魚群探知機の実用化に成功

当社の創業者・古野清孝が、長崎県口之津町（現在の南島原市）に「古野電気商会」を創業。船舶の電気艦装工事などを請け負うなか、「漁業を近代化したい」との思いから、弟の清賢とともに「魚群探知機」の開発に挑み、1948年、世界で初めて実用化に成功します。

1970~ 海外進出を本格化し、世界の“FURUNO”へ

1972年、全米船舶用電子機器協会の最優秀メーカー賞を魚群探知機部門で初受賞。1977年には船舶用レーダー部門でも受賞し、製品への評価が高まります。また、1974年のノルウェーを皮切りに、1978年にアメリカ、1979年にはイギリスに子会社を設立し、海外進出を本格化しました。

1985~ 船舶用電子機器の 総合メーカーとして飛躍

漁船で培った技術をもとに、タンカーや客船などの商船市場、ヨットやクルーザーなどのプレジャーボート市場へ進出。船舶用電子機器の総合メーカーとして飛躍しました。また、陸上分野ではGPS機器の開発に取り組み、事業の多角化を図りました。

2000~ 培った技術を活かし、新分野へ挑戦

船舶用機器で培った技術を活かし、カーナビゲーション用GPS受信機やデジタル放送設備向けのGPS応用製品、ETC車載器などのITS機器、骨密度測定装置などの医療機器を開発。近年では気象レーダーやGPSマーカーなど、さらに幅広い領域で製品を提供しています。

主な開発製品

- 1948 魚群探知機 **世界初**
- 1965 ネットレコーダー **世界初**
- 1980 潮流計 **世界初**
- 1986 海鳥探知機 **世界初**
- 1992 GPS受信機
- 2000 ETC車載器
- 2005 2周波サーチライトソナー **世界初**
- 2012 NAVnetTZtouch
- 2013 気象レーダー **世界最小・最軽量**
- 2015 魚体長グラフ機能付き魚群探知機

■ 株式の状況 (2018年8月31日現在)

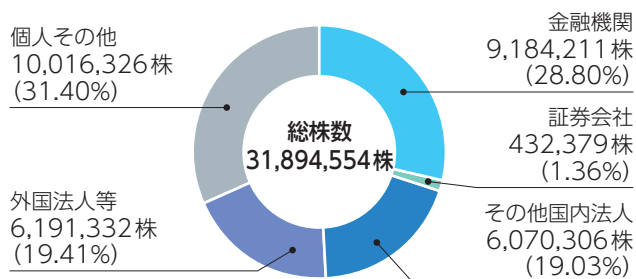
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
自己株式	383,935株
株主数	3,948名

■ 大株主の状況 (2018年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,186	13.29
古野電気取引先持株会	1,034	3.28
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱UFJ銀行	992	3.15
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	826	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	808	2.57
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTSM LSCB RD	727	2.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	679	2.16
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	658	2.09

※持株比率は、自己株式383,935株を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況 (2018年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式383,935株(1.20%)を含んでおります。

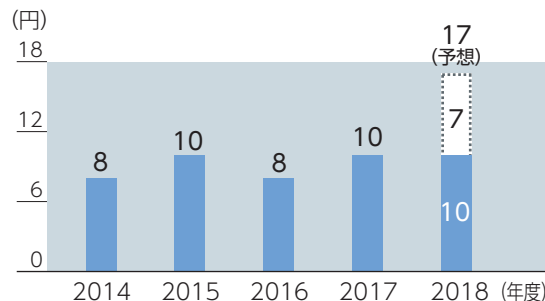
■ 会社概要 (2018年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話番号	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,939名(連結) 1,729名(個別)

■ 役員 (2018年8月31日現在)

代表取締役社長	古野 幸男
専務取締役	小池 宗之
常務取締役	石原 眞次
取締役	矮松 一磨
取締役	岡本 達行
取締役	西森 靖
取締役	大矢 智資
取締役	藤田 尚住
取締役	山宮 英紀
社外取締役	寺山 孝男
社外取締役	樋口 英雄
常勤監査役	和田 豊
社外監査役	小美野 廣行
社外監査役	村中 徹

■ 配当金の推移



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	
定時株主総会	毎年2月末日
期末配当金	毎年2月末日
中間配当金	毎年8月31日
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。	
公告の方法	電子公告 (http://www.furuno.co.jp)
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先(お問い合わせ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (ご利用時間: 土・日・休日を除く9:00 ~ 17:00)
お取扱窓口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)